

大 学で開催された学術会議にスタッフとして参加したのが、コンベンションビジネスに携わるきっかけになった。世界の多様な文化に触れられる面白い仕事だと思った。

今年6月28日-29日に開催されるG20大阪サミットは、大阪では1995年APEC以来の国際的なビッグイベント。2025年の大阪・関西万博を控える関西にとって、絶好のアピールの機会になるだろう。

国際会議の開催地として日本ブランドで最も強いのは東京と京都だが、大阪の位置づけも上がってきていると感じる。関西国際空港があり交通の便もよい。大都市でありながら経済団体や自治体が一体となって支援してくれる地域性を残し、都市機能が充実していることも東京や他の地方都市にはない特徴だ。しかも周辺には京都・神戸という特色ある都市が集まっていて、関西として強みを発揮できる。大阪で会議を開催し、京都や奈良を観光、神戸で視察を組むというように、都市間でケースに応じ、相互に役割を補完できることが強みと言える。

G20大阪サミットの開催によって国内外のメディアを通じた開催地情報の発信が増え、人々の関心も高まるだろう。また、参加者や関係者が家族とともに観光で再来日するなど、人を通じた効果も期待できる。

近年、各都市がMICE*の誘致に力を入れているのもインバウンドの経済効果が大きな狙いだが、人が集まり、語り合うことで新しい何かが生まれ、産業や学術のイノベーションにも良い影響をもたらす。開催地や周辺の人々が関わることで地域活性化につながる可能性も高い。

多くの国際会議やイベントに携わってきた経験から言えば、G20大阪サミットを通して、関西のホスピタリティの経験値が各段に上がることは間違いない。これを突破口に、次につながる好事例をつくり、多様な人や機関と連携しながら、医療や観光などをはじめ関西の強みを生かしたMICEで地域の発展に微力を尽くしたい。【文】

*Meeting, Incentive Travel, Convention, Exhibition/Eventの頭文字をとった造語で国際会議や学術会議、ビジネスイベントなどの総称

G20大阪サミットで 地域を活性化

武内紀子 日本コンベンション協会 副代表理事



Noriko Takeuchi

たけうち のりこ
1963年大阪府出身。大阪大学人間科学部卒。90年コンベンションの企画運営会社コングレ設立に参画、2013年コングレ代表取締役社長。G20会合では財務相・中央銀行総裁会議等の運営を担うほか、首脳会議にも関わる。(一社)日本コンベンション協会(JCMA)代表理事を経て、19年6月より副代表理事。
<https://www.jp-cma.org/> <https://www.congre.com/>

季刊 [やく] June 2019 | No.39

C O N T E N T S

02 Person 人・明日をつくる

G20大阪サミットで地域を活性化
武内紀子

03 [鼎談] 基軸を探る

デジタル革命と事業変革を考える
伊藤元重／楠 真／澤谷由里子

18 オピニオン

デジタル革命への視点

意義

「あらゆる現場の『地道な変革』が社会を裏から変えていく」森川博之

先例と展望

「DXによる第4次産業革命の幕開け」藤原 洋

エネルギー

「多様な売り手と買い手をつなぐツーサイドプラットフォーマーに」堤 富士雄

25 旬発NIPPON

湖の風を受けて走れ——「ビワイチ」ツーリズム

29 かんてんFOCUS

デジタルトランスフォーメーションの加速

名部正彦

34 現場力↑最前線

「K-VaCS」の次世代火力運用サービス